

一 般 行 政 報 告

平成 24 年 第 6 回定例会 (12 月)

《 目 次 》

- 1 市民交流団『市民の翼』の石垣市訪問について . . . 1
- 2 平成 24 年稚内・コルサコフ定期航路運航実績について . . . 3
- 3 映画『北のカナリアたち』の全国公開について . . . 5
- 4 高齢者の集いの場「カフェ天北」について 7
- 5 開業医誘致助成第 2 号となる小児科医院の開業について 9

平成 24 年・第 6 回稚内市議会定例会の開催にあたりまして、5 項目について一般行政報告をさせていただきます。

◎ 1 点目は、「市民交流団『市民の翼』の石垣市訪問について」であります。

このたび、達副市長を団長とする市民交流団『市民の翼』一行が、沖縄県・石垣市との友好都市締結 25 周年を記念して、同市を訪問してまいりましたので、概要を報告いたします。

これまで石垣市と交流を重ねてきた関係団体、また一般公募による市民の皆さんと総勢 47 人で交流団を結成し、去る 11 月 2 日から 4 泊 5 日の日程で石垣市を訪れました。

滞在中には、「石垣・島まつり」も開催され、その一環として行われた「親善・友好・ゆかりのまち交流会」に、本市市議会議員の皆さんとともに参加をいたしました。

本市からは記念品のほか、『北のカナリアたち』の上映会一式を目録で寄贈いたしました。これまで一緒に交流を続けてきた石垣の皆さんに、もう一度、この稚内を再

認識してもらう絶好の機会だと捉え、映画館のない石垣に映画鑑賞の機会を提供しようと考えたものであります。

上映会は早速12月5日と決定されたとのことであり、多くの皆さんに鑑賞していただけるよう、現在、準備を進めていただいております。

滞在2日目の市民パレードには、交流団全員で「南極おどり」を披露しました。曲の合間には映画『北のカナリアたち』や本市のピーアールを行い、沿道の石垣市民の方々から心温まる声援や拍手をいただきました。

また、^{しんえい}新栄公園に設置された「世界平和の鐘」の記念鐘打式が行われ、本市と石垣市の皆さんとで、改めて平和への祈りを込めて鐘打を行いました。

石垣市とは、これまでも「世界平和の鐘」をはじめ、文化やスポーツ、物産、青少年の交流や、職員の相互派遣など、様々な分野で交流を深めてまいりました。

来年2月には、石垣市の訪問団が本市を訪れる予定です。市民ぐるみで歓迎し、今後も両市の発展に繋げられる交流を続けてまいります。

◎ 2点目は、「平成24年稚内・コルサコフ定期航路運航実績について」であります。

本年度の稚内・コルサコフ航路は、6月5日から9月28日の期間、28往復、56便が運航され、本年の運航を全て終了いたしましたので、その概要を報告いたします。

旅客輸送実績は総数4,219人であり、内訳としては、日本人が昨年とほぼ同数の1,473人でしたが、ロシア人が2,636人と、震災前とほぼ同程度に回復しております。

その結果、震災前の一昨年と比較しても、全体で316人増加しました。

特に、「一便あたりの平均旅客数」は75.3人と、現在より便数が多く、旅客数も多かった時期を含めても、過去最高となりました。こうした実績は、これまでの集客努力の、一定の成果の表れと捉えております。

一方、貨物については、約980トン、前年比83.7%の実績にとどまりました。期待しているサハリンプロジェクトに、まだ動きが見えていないこともあり、かつてほど物は動いてはおりませんが、本年は新しい取組として、

生鮮食料品の輸出が試行されました。

本航路は「決まった日に必ず運航され、輸送時間が短い」という強みを持ちながら、その強みを生かせる生鮮品の輸送については、これまで通関手続きのための保管用冷蔵設備がないことが障害となり実現できずにおりました。

本年はその目処が立ったことから、果物と刺身用の冷凍魚の輸出が試験的にではありますが、行われたものがあります。

稚内・コルサコフ間のフェリーは、先ほども申しあげましたとおり、定時性、迅速性などの長所がございます。

貨物につきましても、大型建設機械や資材だけではなく、北海道の強みを生かした食料品の輸出も、この航路を利用して、その量を拡大していくことが期待されます。

そうしたことから、北海道にもこの航路の利用促進に取り組んでいただいているところであり、今後も本市が持つ“地の利”をアピールしながら、この航路の安定性が確保できるよう支援に努めてまいります。

◎ 3点目は、「映画『北のカナリアたち』の全国公開について」であります。

これまで本市をはじめ、この地域を挙げてロケを支援してきた、映画『北のカナリアたち』が、いよいよ 11月3日、全国327の映画館で公開されました。

公開初日から2日間で観客動員16万人を超える等、好調なスタートを切ったとの報道がなされています。

全国公開に先駆け、本市では10月7日、総合文化センターを会場に「先行上映会・感謝の集い」を開催しましたが、定員の3倍以上の応募が寄せられ、この映画に対する市民の皆様への期待の大きさを感じたところでもあります。

本市としては、これまでも報告しておりますとおり、映画公開を観光客誘致に結び付けるため、ロケ地となった関係自治体と「最北推進協議会」を組織して、全国展開でキャンペーンに取り組んでまいりました。

また、商工会議所では、首都圏のエージェント招へいや、映画の封切に合わせた東京などでの街頭アンケートにも取り組んでいただいているほか、宗谷総合振興局で

はロケ地マップを作成していただくなど、映画公開前から全市を挙げてピーアール等に取り組んでまいりました。

先般取りまとめた本市の本年度の上期観光入込客数は、総数 36 万 8,500 人、前年比 5.8 パーセント増と、上期としては 10 年振りに前年を上回りました。

なかでも道外客が 10 パーセント以上増えており、宿泊客も震災前の一昨年度と比較しても 10 パーセント以上増えるなど、低迷を続けてきた観光に久しぶりに明るい兆しが見られております。

映画『北のカナリアたち』の観客動員数は、その後も、順調に伸びているとの報告を受けております。今後も関係自治体と連携を図りながら、これを機に一人でも多くの皆さんに、この地を訪れていただけるよう、より効果的な誘致宣伝を行ってまいります。

市民の皆さんにも、ぜひ全国の知人・友人の皆さんにこの映画の魅力をお伝えいただき、引き続き応援していただきますようお願い申し上げます。

◎ 4点目は、「高齢者の集いの場「カフェ天北」について」であります。

去る11月2日、沼川みのり公園総合管理棟を会場に、“高齢者の集いの場”「カフェ天北」を、地域の皆さんとの協働事業として初めて開催いたしました。

高齢者の皆さんに気軽に集まっていたいただき、交流を通して楽しみや生きがいを感じていただくとともに、介護予防を目的として開催したもので、本市介護保険事業計画に位置付けた“高齢者が集える場所づくり”のモデル事業として開催したものであります。

「カフェ天北」の参加者は34人、サポート役として地域から18人、その他関係者を合わせ約70人が集い、茶話会やご当地体操、ゲームなどを行い、笑顔と笑いが絶えない楽しい時間を過ごしていただきました。

このたびの事業は、私自身が地域に出向き皆さんと語り合う『ふれあいトーク』でいただいたご意見をきっかけとし、担当課と地域の皆さんとで意見交換を重ねながら実現したものであります。

開催にあたりましては、地域の民生児童委員、地域保健推進委員などの皆さん、天北連合町内会のご協力をいただき準備を進め、名称や開催内容も地域の皆さんに決めていただくなど、地域の皆さんに主体的に取り組んでいただきました。

開催後のアンケート調査でも、「大変良かった」「また参加したい」との声を数多く寄せていただいております。

今後につきましては、アンケートの結果も参考に、課題や問題点を検証し、地域の皆さんと継続的な開催について検討してまいります。

また今後、宗谷や勇知地区などでも“高齢者が集える場所づくり”に、地域の皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと考えております。

老人ホームやグループホームなど介護基盤の充実とともに、今後も市民の皆さんにご意見をいただきながら、私が目指す“高齢者を地域全体で支え合うまちづくり”に、積極的に取り組んでまいります。

◎ 5点目は、「開業医誘致助成第2号となる小児科医院の開業について」であります。

開業医誘致制度の助成第2号となる小児科医院「こどもクリニック・はぐ」が、今年（11月）10日に竣工式を終え、13日、富岡4丁目に開業されました。

多くの市民が待ち望んでいた開院であり、あらためて、心から感謝の意を表すところでもあります。

稚内のまちと人が大好きとおっしゃる埼玉県ご出身の「伊坂雅行^{いさかまさゆき}医師」は、神奈川県相模原市において長年、勤務医をされ、こどもの^{いのち}生命を守る“医療”への熱い思いをお持ちです。

また、悩みを抱える保護者の皆さんの子育て支援にも力を注ぎたいとの意欲もうかがっており、わがまちの小児医療の充実に大きく貢献をしていただけるものと確信しております。

施設としては、来院患者に配慮して感染症専用を含む3つの診察室をもち、待ち時間に配慮したスペースと、授乳室、医療・健康の相談や教室開催も可能なセミナールームの設置など色々と工夫が施されております。

ご本人をはじめ看護師、診療助手や事務職員の6人体制で診療にあたるということで、外来のほか、乳幼児健診や予防接種など健康増進の場や、学校保健の場など様々な機会に、ご尽力いただけるものと、期待をしているところであります。

開業医誘致につきましては、今後も、地元医師会など関係者の皆様のご協力をいただきながら、この地域の医療環境の更なる充実を目指して取り進めてまいります。

以上、5項目についてご報告申し上げ、私の一般行政報告とさせていただきます。有難うございます。